

子供見守り活動 事例集

平成
23年度



平成23年度前期東京都子供見守りボランティアリーダー育成講座修了生の皆さん
(平成23年8月27日 於・東京都秋葉原庁舎)



平成23年度後期東京都子供見守りボランティアリーダー育成講座修了生の皆さん
(平成24年2月4日 於・東京都立産業貿易センター 浜松町館)



東京都

編集・発行

東京都青少年・治安対策本部 総合対策部 安全・安心まちづくり課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 電話:03-5388-2282

「子供見守り活動」 あなたも始めてみませんか？

「子供見守り活動」は、名称や登録の有無に関わらず、子供の安全を確保するために一定の時間、子供の生活空間にとどまるなどして周辺の子供を見守る活動をいいます。

子供見守り活動が次代を担う子供たちの安全・安心や健やかな成長を支えます。



パトロールだけが、 「子供見守り活動」ではない！



子供の安全確保というと、通学路のパトロールを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。パトロールも効果的な方法ですが、実は、皆さんが普段から行っている清掃活動や花の水やり、犬の散歩なども直接・間接的に子供の見守りにつながっているのです。

本事例集では、子供見守り活動を始めようとしている人、また、既に取り組んでいる人のためにも、アイデア豊富な活動事例や活動のヒントを紹介しています。

皆さんの活動によって、安全で安心な地域社会を実現しましょう。



INDEX

子供見守り活動を始めるにあたって…………… P4

子供見守りチャレンジ提案紹介

- NPO法人ささえ手…………… P6
- 四谷地区青少年育成委員会…………… P8
- 新高円寺わんわんパトロール隊…………… P10

子供見守り活動紹介

- 中野区 西町町会子供と共に進む会…………… P12
- 明星大学防犯ボランティア隊(MCAT)…………… P14
- 還暦野球倶楽部オールドスターズ…………… P16

子供見守りボランティアリーダー育成講座紹介

- 子供見守りボランティアリーダー育成講座…………… P18
- 受講生の子供見守りプラン紹介…………… P20

活動のヒント

- 馬橋ご近所付き合い広目隊…………… P22

できることを、自分のスタイルで!

子 子供見守り活動は、子供の安全を守りたいと思う人が、それぞれの地域の実情や個人の事情に応じて、無理のない、継続可能な方法で行うことが大切です。

参加層に限られる、個人の負担が過大、他団体との連携ができないなど、活動をめぐる課題はありませんか?

できる人ができるときに、楽しみややりがいを見出せる活動を展開しましょう。



登下校の時間帯にあわせて日常生活の中で見守り

- 花や庭木の手入れ
- 犬の散歩
- ジョギング、ウォーキング
- 買い物

安全まちづくりの取組

- あいさつ運動
- 地域の環境浄化活動 (地域清掃、美化活動)
- 防犯パトロール

子供見守り活動



地域の行事を通じて大人と子供とが顔見知りになる

- 祭り
- もちつき、どんど焼き
- 運動会

小学校・中学校で

- PTA、おやじの会の活動
- 地域安全マップづくり

高校・大学で

- ボランティア活動
- 部活動のランニングを兼ねた見守り

民間企業で

- 動く防犯の眼活動
- 子供の避難場所提供

「子供見守りチャレンジ提案事業」とは?



※平成23年度から3か年の実施予定です。

子 子供見守り活動のさらなる充実を図るため、防犯ボランティア団体が地域の実情に応じて作成した「子供見守りプラン」に基づく取組に対して、東京都が区市町村と一体となり補助を行うものです。

提案するには、東京都または、区市町村の「安全・安心まちづくり課」(安全支援課、危機管理課など名称は自治体によって異なります)にご相談ください。

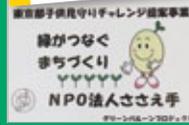
対象となる事業は?

都内で自主的な防犯活動を行う団体が提案する新たな子供見守り活動が対象となります。事業内容に応じて、以下の2つに分類されます。(平成23年度現在)

事業区分	事業内容	活動事例(掲載ページ)
A 地域の課題解決 チャレンジ提案事業	地域が抱えている子供見守りに関する課題を解決するための 新たに企画する 取組	● NPO法人ささえ手(P6-P7)
B 他団体との協働による チャレンジ提案事業	他の団体と 新たに協働して 実施することにより、子供見守り活動の向上を図る取組	● 四谷地区青少年育成委員会(P8-P9) ● 新高円寺わんわんパトロール隊(P10-P11)

「グリーンバルーンプロジェクト」 緑の芽と見守りの芽を育てよう!

シンボルプレート



今回の取組内容

ま ちに【ささえ手】のプランターと緑化の種を配布。水やりの時などに登下校中や遊んでいる子供たちに目を向けて、そっと見守ってもらいます。

プランターで緑を育てながら、子供たちに意識を向けてもらうことで、地域を守っているという意識啓発に繋がっていきます。パトロールなどの地域活動が出来ない忙しい方や体力的に難しいという方にも協力してもらうことで、少しでも地域を守ろうとしている意思表示にもなり、犯罪者が好まない安心なまちになると考えています。



▲グリーンバルーンプロジェクトについて説明している様子

◀代表者の齋藤美和子さん



ポイント

- プランターで緑を育てている人の意識が子供たちに向き、見守り気持ちが顕在化します。
- 自分たちが地域を守ると意識が広がり、見守りのネットワークが構築されます。
- プレートが地域見守りのシンボルになり、犯罪者が好まない安心なまちになります。

活動内容

安心して暮らせる地域を次世代に繋げるための活動を行っている団体です。緑を育てながら子供の見守りを行う「グリーンバルーンプロジェクト」、学校を核にコミュニティを広げる「コミュニティ農園(ささえ手農園)」、子供たちのアート作品を広げることで温かい地域をつくる「キッズアートプロジェクト」など、地域の絆づくりや安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいます。



コミュニティ農園
小学校の一角を使って野菜を栽培



キッズアートプロジェクト
子供たちの作品を学校周辺に掲示

今後の展望

プランターの数を現在の50個から100個に増やしていきたいと考えています。成果について発表する場を増やすことで趣旨が広がり、いろいろな団体にも真似をしてもらいたいです。

行政においても緑地課、安全推進課などの役割を超えて推進するプロジェクトとなってくれたらと思います。



子供の見守りに関する講演



プランターを地域の方に配布



プランターで緑を育てています

「知っている人を増やそう！」



今回の取組内容

各 団体が出展するブースのゲームや餅つきなどを通して、保護者や子供たちに地域団体の活動を知ってもらい、相互の繋がりをつくる(知っている人を増やす)取組です。

子供たちは各ブースできちんと「あいさつ」をすることで、スタンプを押してもらい、それを集めることでお餅やトン汁と交換してもらえます。子供たちにとっては、あいさつの大切さを学べるだけでなく、「知っている人」が増えることで安全に暮らすことができるようになります。



◀事務局長の田谷節子さん



◀行政関係や地域団体が協力してイベント開催



ポイント

- 保護者が子供たちのために開くイベントと同日開催にすることで、保護者や子供たちが参加しやすくなりました。
- 行政や地域団体、保護者団体、地域の中高大学生スタッフなど幅広い層が一堂に会し、地域の交流が深まりました。
- 地域の連携には、みんなで楽しく取り組める環境設定と声かけなどの人間関係が大切です。

活動内容

文化部(在宅福祉施設の納涼祭ボランティア活動など)、校外生活部(野球大会など)、社会環境部(夏休み映画上映など)、広報部(育成会の事業報告など)の4つの部会と、夏休み自然体験キャンプ実行委員会、子どもネットワーク実行委員会、PTA、学校、児童館、警察、消防と連携した全体会を実施しています。



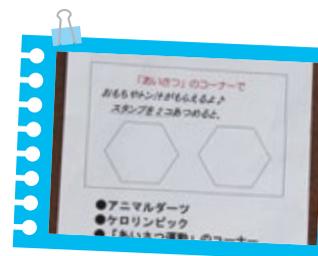
おもちゃの競争を予想するゲームに熱中



あいさつをしてゲームに挑戦

今後の展望

四谷では、「連携」を合言葉に活動を広めており、各校PTAの見回りと育成会の見回りとのバトンタッチを行うなど、具体的な連携がなされています。さらに、イベントを通して団体の活動を保護者に理解してもらうことで、各事業に参加する機会が増え、お互いに達成感の得られる事業になると感じています。その達成感を地域全体で分かちあうことで、「連携」のステップアップにつながるかと期待しています。



あいさつをするとスタンプがもらえる



ピーポくんイベントに登場



地域のコミュニケーションも深まる

新高円寺わんわん パトロール隊

わんわんパトロールに伴う子供見守りロードづくり

シンボルプレート



今回の取組内容

地 域のシニア家庭のプランターに花を植え、「子供見守りプラントハウス」として協力していただく家庭を増やし、子供たちが安心して通ることができる「子供見守りロード」を整備します。

植物や動物を介在として子供とシニア住民の絆をつくり、地域住民とそこに育つ子供たち、双方の関心を高めます。また、人目につきにくい場所なども整備することで、人が行き交いやすい場をつくり、子供たちの日常的な安全を確保します。



▲犬の散歩をしながら地域のパトロールを行っている

◀代表者の島田典子さん



ポイント

- わんわんパトロール隊員の活動にあわせて実施しています。
- 人目につきにくい通路も花があることで、明るく人が行き交いやすい場になります。
- 花や犬を通して、世代を超えた交流が生まれます。

活動内容

小学校の地域周辺をワンちゃんと一緒に散歩しながらパトロールをしています。現在約50世帯の方に参加してもらっており、朝と夜の散歩に合わせてパトロールを行っています。それぞれの散歩時間に合わせてマイペースにパトロールができるので、時間と場所など、いろいろな地域を見守ることが出来ます。ただ散歩するだけでなく、地域の防犯に気を配りながら歩くことで、まちの安全に繋がっていくと考えています。



路地に花を植える「花ロード」



朝と夜の散歩に合わせてパトロール

今後の展望

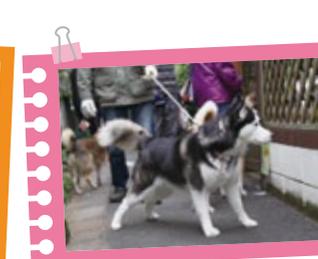
開花・育成情報を「子供見守りロード花マップ」として、小学校や地域回覧板などを通して、子供たちや地域の人々にも知らせていきます。「子供見守りロード」の認知度が向上し、活性化されることにより新たな交流の場となり、人目につかない箇所が減少するとともに、安全な通路や地域が広がります。



「バンダナナリード」は活動の目印



店舗の前にもキレイな花が



約50世帯がパトロールに参加

中野区 西町町会 子供と共に進む会

PRチラシ



活動内容について

子供の健全な育成のために西町町会と連携し、地域の子供会と交流親睦(お花見、お祭り、クリスマス会、お餅つきなど)を図っています。

今回、取り組んだ「かけこみ体験」は、実際の体験を通して「子ども110番の家」協力者と子供たちの認知度(意識・知識)を高めるとともに、お互いの関係を深めていきます。さらに、周辺地域にもこの取組を普及させて、より効果のある仕組みにしていきたいと考えています。



地域にある「子ども110番の家」を訪問して場所を覚える



「かけこみ体験」の説明をしている様子



協力者に子供からフラワーポットを渡す



活動のポイント

不審者による声かけ事案のシミュレーションを行い、協力者と子供たち(保護者含め)がお互いに、いざという時にどのような行動をとればいいのかを体験します。特に低学年の子供たちに声かけ事案を体験させることで、「こんな時は警戒しないといけない」という状況を気づかせます。また、子供たちから「子ども110番の家」協力者への感謝の気持ちとしてフラワーポットを渡すことで、協力者との交流を深めます。



「子ども110番の家」を訪問



実際にかけこみ体験



協力者に不審者の情報を伝える



お礼としてフラワーポットを渡す

Point

- 「かけこみ体験」によって協力者と子供たちの関係を深める!
- どのような状況が危険であるかを判断できるようになる!
- 「子ども110番の家」の認知度を高め、協力者を増やす!



今後の展望

これから活動を地道に続けていくことで、認知度とともに、この仕組みの重要性を感じる人が少しずつ増えていき、近隣の地域にも広まっていくと期待しています。今回参加した子供たちが大人になったころには、全ての家に黄色いステッカー(子ども110番の家)が貼ってある、人と人の触れ合いも盛んな街になっていると良いと思います。



明星大学 防犯ボランティア隊 [MCAT[※] (通称エムキャット)]



※MCATは、「MEISEI COMMUNITY ACTION TEAM」の略で、「COMMUNITY ACTION」は、「地域のために活動する」という意味です。

活動内容について

授業の空き時間を利用して、学校周辺住宅街のパトロールや近隣小学校の下校サポートを行っています。また、大学のボランティアセンターを窓口とした警察や市からの依頼を受けて活動を行っています。季節ごとに行われる「市民の集い」や「もみじ灯籠まつり」といった市の行事にも積極的に参加しています。イベントを通して地域のボランティア団体や市民の方との交流を深めています。



住宅街のパトロールや小学校の下校サポートを行う



授業の空き時間に活動している



パトロールをしながらゴミ拾いも行う

この活動を通して

私がこの活動で得たものは、防犯の知識やノウハウだけではなく、組織の運営の仕方や他団体との連携の取り方、コミュニケーション能力、人格面など多岐に及びます。何より人とのつながりといった面で得るものが非常に大きく、この活動を通して、人間として一回り大きく成長できたと感じています。卒業後も地元地域のボランティア団体に所属して、この活動を通して得たノウハウを活かせればと考えています。

Point

- ボランティア活動に対する意識の高い学生が授業の空き時間を利用してパトロール!
- 大学のボランティアセンターが警察や行政からの依頼をコーディネート!
- 地域のイベントに参加することにより深まる信頼と交流!



◀リーダーの榎原里奈さん

今後の展望

地域の防犯団体とより密接な関係を築いていきたいと思っています。日野市で行われる地域行事への運営段階からの積極的な参加によって、よりMCATの名前を地域に広めるとともに、団体同士の交流を深める機会になればと考えています。また、新たに何か大きな行事をMCAT自身で企画実行できればと個人的には考えております。





還暦野球倶楽部 オールドスターズ



活動内容について

東久留米市で子供たちの見守り活動をする「オールドスターズ」は、東京都還暦軟式野球連盟に所属する野球チームのメンバー。着用するゼッケンは社会福祉協議会が費用を負担し、ボランティアグループ「ひまわり」が製作した手作りです。

平日の野球練習後、参加できるメンバーを集め、子供たちの下校時間に合わせて小学校周辺の見回り活動を行っています。



続けていくことで子供たちも親近感を持っている



野球チームの仲間が集まって活動



下校時間に合わせて子供を見守る



活動のポイント

パトロールは2004年から活動を始めました。その当時、子供に対する事件などもあったため、地域のためにできることとして、野球チームのメンバーに声をかけて活動をしています。市の社会福祉協議会にも相談をして活動を始めました。パトロールをしながら、子供たちに話しかけることで親近感も持ってもらえるので、子供たちが安全に暮らせる環境に役立てればと考えています。



Point

- できるときに、無理をせず、楽しんで!
- 趣味を通じて地域に貢献!
- 子供たちに声をかけることで親近感と安心感を持ってもらう!

ある日の活動



あまり無理をしないで、時間がある時に活動しています。子供たちと話をしたり、保護者の方に「ご苦労様」と声をかけられたりすると嬉しいですね。

育 成 講 座

平成23年度「東京都子供見守りボランティアリーダー育成講座」を実施しました。

前期 平成23年 5月21日～平成23年8月27日(全8日)

後期 平成23年11月19日～平成24年2月 4日(全6日)

プランづくりを学びます

- ☆ 専門家の講義
- ☆ リーダーの体験談
- ☆ インターンシップ



① 防犯のスペシャリストや第一線で活躍するボランティアリーダーなど豊富なキャリアを持つ講師陣の実践的な講義から、今後の活動のヒントを見つけます。

☆ プランの企画



② これから地域に戻って取り組んでみたい子供見守り活動を考え、「子供見守りプラン」としてまとめる方法、よい話し合いをする方法を学びます。

☆ 発表



③ 講座を通して学んだことをもとに作成した「子供見守りプラン」を発表します。



開講式の様子



ワークショップを体験



専門家による講義

ボランティア団体の活動を体験します

教室での講義のほか、ボランティア団体の活動を実際に体験(インターンシップ)し、既に活躍しているリーダー達の行動力を肌で感じることができます。



登校時の見守り活動を体験

【協力団体】

- 六本木をきれいにする会(港区)
- PSI池上自主防犯パトロール隊(大田区)
- 明大前ピースメーカーズ(世田谷区)
- 和泉ピースプラスワン(杉並区)
- 馬橋ご近所付き合い広目隊(杉並区)

講座を受講して!



平成23年度後期受講生の
泉田 正悟さん(MCAT所属)

この講座を通して防犯対策、犯罪心理など数多くのことを学びました。地域をより良くしたいという同じ考えを持つ仲間がこれほど多くいることが私にとって嬉しく、日々の活動の励みとなりました。



MCATでの活動の様子

今までは守られる側であった自分が、今度は守る側に立っている、新たな視点に立つと新たな問題が次々と浮かび上がりました。しかし地域に住む子供たちを守るのは、地域に住む我々大人たちしかいないのです。講習で得た知識を活動に活かし、より良いまちにしていく決意を新たにしました。



受講生の子供見守りプラン紹介



◎平成23年度前期受講生の子供見守りプラン



氏名	プラン名
秋葉 正勝	子供見守り友好会
海上 孝子	ふれあい祭り (活き活き三世代ふれあう祭り)
北川 芳美	犬と仲良しになろう
佐々木 春男	子供見守り
関口 一夫	小学校通学時 の登校・下校の見守り
柳澤 淳子	お母さんの子供を見る目の リフレーミング(枠組みを変える)計画 ≪1日1回子供を3分間ハグする会≫
杉野 真梨絵	こどもの環境を見守りたい!!
高橋 一華	元気な街をつくる。
山下 真理	北千束エコミッション
向山 栄喜	八幡山防犯パトロール隊 (八幡山町会防犯部)
佐藤 裕康	明るい、楽しい、美しいまちづくり
上妻 陽子	「子ども110番の家」駆け込み体験! &フラワーポット大作戦」
秋澤 博之	和田三丁目西町会防犯パトロール 夕隊・子供見守り隊 和田三丁目 西町会防犯会「街かど救急隊」
鈴木 克美	グリーン・ピース プロジェクト ～芝生 そして 平和な地域をめざして～
平野 一枝	住民が安全で安心して生活できる 明るい団地作り
左口 絹英	見守りボランティア活動参加システム 「with」ウィズ

氏名	プラン名
澤村 朝子	子ども見守りステーション
鶴田 晴久	隅田「子供見守り」クラブ
西井 彩友	遊ぶ、そして知る
福島 勲	平成24年活動計画
柴田 亮	ワンワン+ジョギング、パトロール
渡部 実知子	昔遊びと花いっぱい子ども安全を!!
前田 義昭	(表題なし)
脇山 幸之	未来の大人の健全育成
榊原 里奈	C&C～コミュニティと キャンパスからの子供見守り～
岡 信子	百村子ども見守り隊
小泉 礼子	1年間の計画を楽しく過ごす
奈良部 義彦	(仮称)農作業見守り隊・屋外見守り隊
瀧本 葵	交流があり住みやすい町づくり
青木 智子	地域の子どもの見守り
市川 修	樹に名札をとりつけよう!
菊川 均	消火器保管ボックス作成
飯島 文彦	二小地域ふれあいキャンプ
川合 真理子	みんなで作ろう地域の輪 ～あいさつのひびく街づくり～

(順不同・敬称略)

◎平成23年度後期受講生の子供見守りプラン

氏名	プラン名
美添 哲彦	青少年の法令公序良俗遵守に関する研修会 (俗称:子どもコンプライアンス研修会)
小林 次雄	六本木の環境と安全を守るための活動基地「番屋」の設置(6)の活動内容にある事業の継続と拡大のための活動基地一
小澤 友治	安全で明るい四谷防犯推進委員会 新宿駅東南地域安全協議会
海上 富雄	子供見守り週間
中山 浅男	神楽坂安全安心パトロール
道田 五月	牛込わんわんパトロール
西脇 健治	餅つき大会
矢島 昇	
尾崎 和彦	窪町小学校スクールガード
長谷川 陽一	自分達で守る地域の安全と住み心地 文京区大原地区(千石・白山)
長谷川 浩一	町会コミュニケーション活動
菊池 勝二	墨田区向島一丁目 町会防犯部
郷 俊雄	横網町会 防犯部
原野 孝通	子供見守りボランティア作戦
児玉 健太郎	子供の居場所づくり(無料塾)
鈴木 いまを	用賀の街の子ども見守り ボランティア活動
藺田 正雄	三茶見守りプロジェクト
田中 都	(表題なし)
野口 佐久	学園たんぼ (保水型プランターによる稲の栽培)
浅生 享	軽スポーツによる子供の見守り活動
加藤 美佐子	子ども会を作りたい
鈴木 孝雄	子供と共に安全安心まちづくり
儘田 宏	中野の公園・良し隊
杉山 卓男	高井戸東地区子供見守り隊 子供見守り活動
半澤 清人	杉並区和泉地区 神田川川沿いフラワーロード作り
森 みどり	安全・安心パトロール
新倉 洋子	家庭での見守り
小山 直正	子供の安全・安心な見守り
鈴木 恭一郎	練馬区立中村小 芝生での防災キャンプ

氏名	プラン名
中井 彰久	谷原「ひまわり110番」活性化プラン
渡辺 澄枝	みんなの公園、きれいな公園
市川 耕	
窪田 幸博	豊東っ子見守り隊
矢島 重夫	
鈴木 俊郎	安心安全花の花畑子供見守り
勝村 英世	子ども見守り隊
剣持 英子	見守り合う会
福澤 榮子	みんなで遊ぼう
菊池 依子	子育て世代が住みたくなる街
片野 淳平	登下校時のあいさつ
吉永 鴻一	ケータイ・ネットと楽しく付き合うための 情報教育(犯罪防止編)。
馬場 敬博	あいあいパトロール隊
河内 信郷	まちなか安全リレー
木下 浩司	子供たちの笑顔を育てよう!
佐藤 りさ	忠生子供会再生プロジェクト
武藤 健一郎	みんなトモダチになろう
横橋 明	地域の「目」を拡げ、子供の「芽」を育む会
脇山 幸之	ネット内の安全指導
泉田 正悟	防犯知識の伝道隊 MCAT
平田 康代	ふくろうパトロール
原田 隆信	登校児童見守り
橋本 豊明	国分寺市防犯まちづくり
野口 久美	子供の居場所・寺小屋
森田 洋一	後継者の育成と地域との連携
上田 和俊	わたしのまちの、わたしの83運動
和田 学	高齢者による第2小児童を 下校時見守る会
川島 幹雄	稲城の梨畑から子供たちを見守る隊
島津 光	学校の外には不審者、中ではいじめ に問題行動から見守りたい
住田 佳子	やとっ子見守り隊

(順不同・敬称略)

馬橋ご近所 付き合い広目隊



活動内容について

空 き巣被害多発地区の汚名を完全に払拭するため、NHK「難問解決!ご近所の底力」への出演を契機として平成15年結成。以来、自主的な「防犯パトロール」「あいさつ運動」「環境美化」を3本柱として、積極的かつ先駆的な様々な活動を継続・展開しています。

地域社会の絆をつくり、地域の安全・安心に貢献するその活動は、全国の防犯ボランティアのモデルとなっています。



もちつき大会とバザーを開催し、地域のコミュニケーションを図る



多くの地域住民がイベントに参加



ボランティアスタッフが運営を支える



活動継続のヒント

ヒント1 活動メンバー確保

活動参加で点数が付与される制度(杉並区長寿応援ポイント事業)を活用しているほか、小学校3年生の総合的な学習の時間でこのパトロールを取り上げてもらうなど誰でも気軽に参加できる仕組みができています。

馬橋瓦版

メンバーを集める際、当初は馬橋地区内の全戸に募集チラシを配布しました。現在でも年2回ほど「馬橋瓦版」に募集記事を掲載しています。



パトロール活動

継続してパトロール活動を実施していく中で、興味を持っていた方もおり、メンバーに加わることもあります。



ヒント2 運営資金

馬橋ご近所付き合い広目隊では、「自分たちのまちは自分たちで守っていききたい」と考え、資金面においても自立して、活動を行っています。

防犯バザー

隊員や協力者の方々の家に眠っているものを出し合って、防犯バザーという形で売り、そのお金を団体の運営資金に切り替えています。



協力金

年4回行うイベントの際に、募金箱を置いて、協力金を入れてもらっています。



ヒント3 地域のコミュニケーション

防犯パトロール以外にも、餅つき大会やバザーなどのイベントを開催することで、地域とコミュニケーションを図っています。パトロールだけでは、飽きてしまうかもしれませんが、こうした活動があるので、楽しみながら継続していくことができます。



代表者の本橋宣彦さん



事務局長の市村敦子さん